

春のはじまりを小鳥のように喜ぶ年もあれば、
昨日の続きとして素通りする年もあった。

都会にいた頃の春の印象は、心の余白次第だったように思う。
しかしスウェーデンヒルズの春は違う。

まるで熟練のオーケストラのように私の前に出現する。

雪をもたげて芽吹くフキノトウは、静寂から立ち上がる弦楽器。

クロッカスが咲けば、主旋律ながらこの丘に色彩を導き、

樹木が芽吹きだすと、山肌はむくむくと膨らみを増し、

キタキツネやエゾリスが嬉しそうに散歩に現れる。

世界が一斉に、春というシンフォニーを奏でる。

そうして春は、時間をかけて生命力の産声を上げ、

自然が生きものであることを宣言する。

北海道には心の大きな人が多いとよくいわれる。

それは、雄大な自然に寄り添って暮らしていれば、

人が小さな存在であることを知るからではないか。

そんなふうを考えるようになったのも、ここに暮らしてから。

わが家の大きな窓には、日々移りゆく季節が広がり、

家に居ながら春の生命力を十分に感じる事ができる。

だから私は理性よりも深いところからワクワクし、

以前よりも少しは寛容になったかも知れない。

この丘では、もうすぐテニスコートやゴルフ場がオープンする。

ちょうど桜が咲き始めるその頃は、

乗馬や釣り、カヌーに出かけるのもいい。

春の楽しみ方は様々に広がる。

妻は、今年はまずテニスをしに行こうと言う。

私としては、まずゴルフだろうと返したいところだが、

意外にも妻の提案をすんなり受け入れていた。

この丘の春は、一体どんな魔法を使っただろう？



石狩ホーストレック

【この丘の春の楽しみ】

人の脳にはコントラストが必要といわれます。昼と夜、賑わいと静寂といった、刺激と鎮静の繰り返しが大切だそうです。スウェーデンヒルズではそこにさらに四季のコントラストが加わります。中でも冬から春へと日々移り変わる自然の営みは圧巻。この丘の春のいちばんの楽しみは、春そのもののなのです。またスウェーデンヒルズ内では、冬の間はお休みしていた「テニスコート」や27ホールスケールの「スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部」もGWとともにオープン。北海道の大自然を楽しめるレジャースポットも身近に充実しています。石狩川をはじめ多くの湖沼ではフィッシングやカヌー。車で15分の乗馬クラブ「石狩ホーストレック」では、他では味わえない豊かな自然に包まれた乗馬を楽しめます。またスウェーデンヒルズ周辺の森では山菜採りも、春を五感で満喫するおすすめのアクティビティです。

春はどんな魔法を
使っただろう？

About Sweden Hills

札幌の中心部から車で約40分。石狩湾を一望できる丘陵地の変化に富んだ地形と豊かな自然を感じる森に包まれた街、スウェーデンヒルズ。スウェーデンハウスの創設メンバーが掲げた「人が人らしく自然と調和して豊かに暮らす」という理想の街づくりを実現するために、1984年に誕生したスウェーデンハウス発祥の地です。電線を地中に埋設し、電柱のない街なみを創出。自然に映える色あいに統一されたスウェーデンハウスがゆったりとした間隔で建ち並んでいます。ここには多忙な日々を送る現代が忘れかけていた、大自然を背景に悠々と日常を楽しむ暮らしがあります。人生をもっともっと楽しみたいご家族のための街、それがスウェーデンヒルズです。宿泊体験も好評実施中です。

詳しくは www.swedenhills.jp または

[スウェーデンヒルズ](#)

[検索](#)

Sketch from
Sweden Hills